

## 日本特許庁が IoT 技術の審査手引きを公開

2018 年 6 月 15 日、日本特許庁は、ホームページ上で IoT（Internet of Things）技術の審査手引きを公開した。

[https://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/iot\\_shinsa\\_161101.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryou/kijun/kijun2/iot_shinsa_161101.htm)

IoT 技術に関する特許出願は、従来の審査基準でも問題なく審査されてきたが、近年、日本でも IoT 技術の研究及び実用化が急速に進んでいることに鑑み、今回の手引きが作成された。

この手引きでは、IoT 技術についての発明該当性、新規性、進歩性の審査基準が説明されている。

また、日本特許庁によれば、IoT 技術を「データ」の観点で俯瞰すると、「①様々なデータを取得し、②ネットワークを介してデータを収集して管理し、③大量のデータを分析・学習し、④新たな価値・サービスを見出す形でデータを利活用」する。③のデータの分析・学習は、人工知能（AI: Artificial Intelligence）により実施されることが多い。

この手引きでは、IoT 技術についてデータの①取得、②管理、③分析・学習、及び④利活

用に関連した事例が紹介されている。特に、③AI を用いたデータの分析・学習に関連した事例が充実化されている。

この手引きの活用により、IoT 技術の特許出願について日本特許庁からの拒絶理由通知の回数を減らし、コストを削減すると共に、特許率を向上させることが可能になると考えられる。